



おもな内容

給食週間の1月27日、献立は「パン、シチュー、エビフライ、リンゴサラダ」です。

溝口町特産メニューのこの日は、シチューには溝口町産の白ネギ、大豆が、リンゴサラダには日光リンゴが使われています。

安心でおいしい給食を ……2・3

まちのわだい ……4・5

社会福祉協議会だより ……6・7

国民年金・じんけんの詩 ……8

溝口文芸・国保データ ……9



図書券の購入に使わせていただきます ＝図書券の寄贈＝

財団法人こうぎん鳥取文化振興財団から溝口町へ一月十五日、図書券が寄贈されました。この日は、山陰合同銀行の古徳常務が町長室を訪れ、住田町長に寄贈書と図書券十万円相当を寄贈しました。図書券は、図書館の図書購入に当てられます。



寄贈書と図書券が手渡されました

日本に一番近い外国

＝韓国理解講座＝

「韓国」と聞いて皆さんはどんなイメージが浮かぶでしょう。

キムチ・焼き肉・ハングル？

日本に一番近い外国、韓国をもっと知ろうと1月17日、中央公民館で韓国理解講座が開かれました。

この日は、保育園児から70歳代の方まで、およそ40人が参加し、県西部総合事務所に勤務されている成聖恵さんが、スライドを使って日本の生活と比較しながら、韓国の文化を紹介しました。また、日本語に翻訳された韓国の絵本の読み聞かせでは、子どもだけでなく、大人までもが聞き入っていました。

参加者は「大人から子どもまで、世代を超えて楽しめる講座だった。また次回も参加したい」と話していました。

次回の講座は、2月21日に開かれる予定です。



韓国のゲームに興味深々の子供たち

地域活動の拠点施設として

＝間地ふれあい交流会館完成＝

間地区の交流会館「やまじ」が完成し一月二十一日、竣工式を迎えました。間地区では、平成十二年からうるおいのある村づくり事業に取り組み、きのこ鑑定会や美化運動、ふるさと交流会など、地域資源を生かした地道な活動を行ってきました。

「やまじ」という名称は、その昔、出雲街道として栄えていた間地区が、今度は交流の場として栄えるようにと、住民の公募により名づけられました。延べ床面積が二六〇㎡、大広間や農産物加工場が完備されています。間地集落活性化協議会会長の田村春夫さんは、長年の念願がやっとかなった。この施設を有効に使って、楽しくうるおいのある集落を目指していきたい。」と話していました。



地域住民の交流の場が完成

声を合せて「よいしょ、よいしょ！」

＝二部小学校もちつき大会＝

二部小学校で1月25日、もちつき大会が行われました。

このもち米は、5年生の児童を中心に、自分達の手で、田植えから稲刈り、脱穀までをしたものです。

40kgのもち米を、児童のお父さん達が外で蒸し、それをもちつき会場の体育館へ運びます。

中で待機していた児童が、先生と一緒に、掛け声をあわせて餅をつきます。

中には、重たい杵にふらふらして、なかなか思い通りの場所に杵を振り下ろすことができず、悪戦苦闘している児童の姿もありました。

つきあがった餅は自分達で丸め、きな粉もちとぜんざいにして食べました。

参加した児童は、自分達の手で端正込めて作ったものが実になる、ということの大切さを、実感できたのではないのでしょうか。



みんなのかけ声にあわせてペタンペタン



入賞者に賞状が渡されました

悪天候にもかかわらず ＝榎水開発リーゼンスラローム大会＝

榎水高原スキー場で一月二十五日、今回で三十五回を数える榎水開発リーゼンスラローム大会が開かれました。この日は、数日前からの大雪のため、ゲレンデ調整に時間がかかり、三十分遅れでの競技開始となりました。大会には、県内外からおよそ八十人が参加し、遠くは四国からの参加者もありました。

残念ながら、溝口町の選手は上位入賞できませんでしたが、次回を期待します。

大会の結果は次のとおりです。

- 男子大回転(小学校男子A) 宇都宮昂平 奥大山スキークラブ
- 上田 琳 窪川スキークラブ
- 加藤 康介 奥大山スキークラブ
- 男子大回転(小学男子B) 秋葉 健太 花見山フジ
- 加藤 匠 奥大山スキークラブ
- 山下 貴大
- 男子大回転(中学男子) 宮本 祐也 花見山フジ
- 高橋 和宏 花見山フジ
- 新谷 大地 剣山ラビット
- 男子大回転(一般) 福田 孝司 徳島県スキークラブ
- 高瀬 広詩 愛スキークラブ
- 新田 真司
- 女子大回転(小学女子A) 山中 洋美 窪川スキークラブ
- 伊達 未悠 米沢小スキークラブ
- 建部 綾佳 花見山フジ
- 女子大回転(小学女子B) 小谷 彩実 花見山フジ
- 村上 歩美 花見山フジ
- 広瀬 美香 花見山フジ
- 女子大回転(中学女子) 高橋 綾菜 西城町体協スキー部
- 村上 千春 花見山フジ
- 女子大回転(一般) 安井 真美 西城町体協スキー部

社会福祉協議会だより



ボランティアのみなさんに支えられて



みそ汁



献立しようがごはん・さばのカレー揚げ
煮もの・酢のもの・牛乳かん

笑顔といっしょに届く お弁当配食サービス

溝口町社会福祉協議会では、町の委託を受けて昼食用のお弁当を配っています。これを支えてくださっているのが、調理ボランティアと配達ボランティアのみなさん約百二十名の方々です。

このお弁当は、バランスのとれた栄養を摂っていただくことと心を込めて調理されたもので、お弁当を届けるときには声かけ安否確認もしていただいています。現在、溝口・二部地区は月四回、日光地区は月二回実施しており、利用者の方々からはとても喜ばれ、毎回楽しみに待っています。

お礼

溝口町社会福祉協議会に、次の方がたからご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

見舞返しとして

二部 和泉 克司 様

香典返しとして

畑池 長尾 尚道 様
根雨原 井上 京一 様
金屋谷 入江 幹子 様
福岡 池本 武功 様
上野 前田 米弘 様

一般寄付として

JA溝口女性会
朝市グループ 様
(金一封)



ぼたもち足りたかいね。(二部公民館にて)



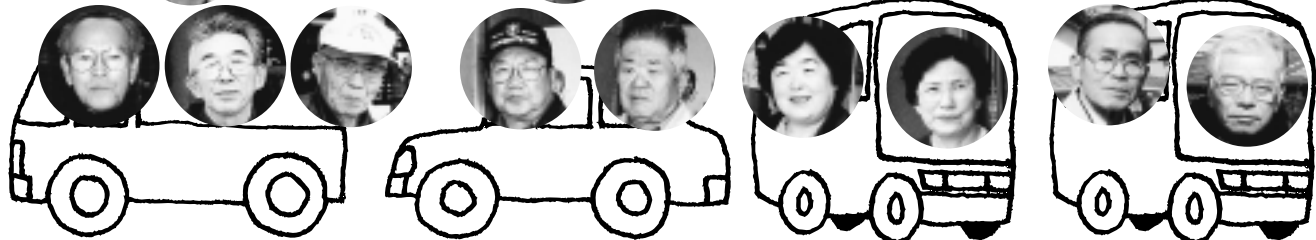
もう一週間はすずめは
主春です。
節令には
しかり
豆まき
不景
気風
吹
け
ました
か
皆さんのお宅に福が宿
よまうに祈ります。
(次回は 月 日です)
溝口町社会福祉協議会 若菜 様



「お変わりありませんか」
「ありがとうございます」

配食サービス対象の方は

- ・65歳以上のひとり暮らし
 - ・高齢者夫婦世帯
 - ・その他特に必要と認められる方
- 利用料 1食あたり 300円です。
平成15年4月から1月まで
配達食数 1,354食
活動ボランティアのべ 820人
《ありがとうございます。》



ハローワーク根雨求人情報 [2月分]

2月分の求人情報は、つぎのとおりです。

Table with 6 columns: 求人事業所名, 所在地, 職種, 年齢, 賃金, 就業時間. Lists job openings from various companies like (有)中島工業 and 片平自動車工業.

ここに掲載された求人情報の問い合わせは次のとおりです。米子公共職業安定所根雨出張所 住所 日野町根雨349-1 電話 0859-72-0065

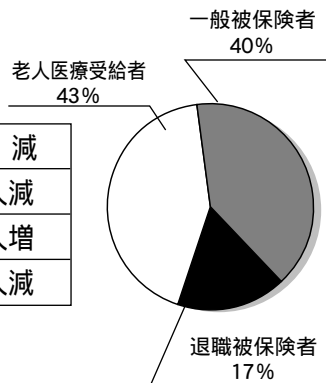
国保データ

(これは、溝口町国民健康保険に関するデータです。)

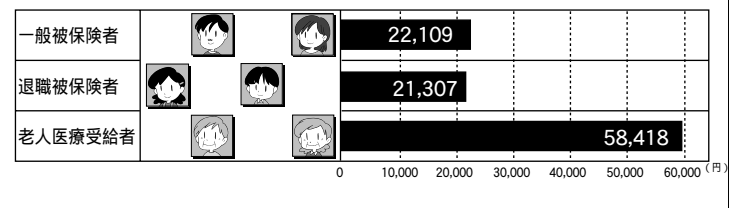
11月末被保険者の状況

世帯数 984世帯 被保険者数 2,041人

Table showing changes in insured numbers: 一般被保険者 (811, -13), 退職被保険者 (343, +12), 老人医療受給者 (887, -4).



11月分の一人当たり診療費



国民年金からのお知らせ

会社などを退職された方へ =国民年金の加入と納付は忘れずに!=

60歳未満で厚生年金や共済組合をやめた方は、14日以内に住所地の市町村の国民年金窓口で種別変更の手続きをして、国民年金保険料を納めていただくことになります。



厚生年金や共済組合をやめたら

国民年金と厚生年金の関係

あなたも配偶者も



国民年金の第1号被保険者となります。

国民年金保険料は、国(社会保険庁)から送付される納付案内書により銀行・郵便局などで自分で納めます。

国民年金保険料の納付が困難なときは、保険料免除の手続きをしてください。加入手続きと同時に免除申請ができます。



会社を退職したら、国民年金の加入手続きをしなければならないのはどうしてですか？

日本国内に住む20歳から60歳までのすべての方に、国民年金への加入と保険料の納付が義務づけられているからです。また、厚生年金に加入していたからといって、加入期間が短かった(老齢基礎年金の受給資格期間を満たしていない)場合は老齢厚生年金は受給することができません。

溝口文芸

短歌

溝口町短歌同好会(順不同)

夜もすがら降り積む雪をまぼろしに母逝きまじし雪の日思ふ 片岡 妙子
このあした積みし雪踏みクリスマス集会に行くと友にひかれて 江沢 正子
われ美味と言えば二人の食卓に箸使ふ妻ひかへ目となる 西賀 俊夫
母よりも三十年生きのびて夫とともに初詣でせり 森田 律子
指先の凍て付く朝の出初め式園児等の並ぶ保育所の前 大松 稔明
大山は雪をかぶりていとさやか上野堤にさかさにと写れり 英賀ミツエ
差し出し人不明の賀状見なれたる林訥な文字は鍛冶屋のKさん 南波 和栄
ひとときのにぎはひありて楽しかり孫等帰れば夫と二人に 高橋 恭子
離り住む甥は賀状に書き添ふる母よろしくと一行の文字 柴田 勝美
受験生二人の孫の帰省なく電話より聞く初春の声 梅林 文枝
「アーンシテ」と口開かせて血圧の薬を飲ませくる曾孫よ 安藤美知代
長き髪切りて坊主の中・二の孫サッカー選手になりたると云ふ 中川 郁子
氏神の当屋を努めしこの一年子は松を立て行

川柳

溝口町川柳同好会(順不同)

事を収めぬ 安達東公子
出雲大社に詣でしグロリアは嘆き云ふ案内所にて英語は通じざりしと 芦立 清美
年賀状夢をいっばい描いて燃え 酒井千代美
家内安全無心に祈り屠蘇を注ぐ 小西 鈴枝
正月も争いごとに明け暮れる 毎田 信翁
大家族羽つきかるた盛りあがる 藤山 弘子
初詣中吉でしたおめでとう 奥田 豊枝
初売へ小踊りしてる福袋 小飼 和代
初釜を孫と嗜むほのぼのと 橋谷 静江
新しい夢ひとつ持ち年が明け 中西智恵子
松の内ポトルがじつとしていない 山本 正光
七福神招くとびらを開けておく 白川 久子
二〇〇四年干支の掛軸三番叟 住田久美枝
新年の乾杯夢をたんと注ぐ 小西 雄々

俳句

溝口町俳句同好会(順不同)

幾たびかよはい問はれて松の内 下村 道也
友人・藤原審爾作なれば 足羽喜代子
『秋津温泉』読むしんと冬の夜 光木 正之
道の辺に紅うれし冬母 亀山八十子

じんげんの詩

なぜ？

工藤 真子

べんきょうは
なぜ しなくてはいけないくて
ひろった犬は
なぜ すてなくては いけないのかなあ
あの日 犬とわたしは 目があつた
目があえば カナブンでも毛虫でも
見すててはいけない
あれは 生き物の合図だから
だいて帰るあいだだけ
犬もわたしもわらった
「せめて食べさせてから すてまじょう」と
おとながいった
いけない それは断じてやさしさではない
愛ではない
おなかをパンパンにふくらませて
しっぽをふっていた子犬よ
その夜わたしは 世界じゅうと
他人になつた
歯は
なぜ みがかなくてはいけないくて
ひろった犬は
なぜ すてなくてはいけないのかなあ

人権読本「人権の詩」より

工藤真子著、あいたくて。大日本図書 一九九一年
生死に言及する作者の「こころ」の眼のたしかさを
自分に味わってみたいのです。

地産地消の取組みを紹介

現在、鳥取県では「鳥取ルネッサンス運動」が進められています。

鳥取ルネッサンス運動とは、「人」、「文化」、「食」、「もの」や「環境にやさしいエネルギー」といった地域資源を見直し活用することで、経済や雇用、文化などさまざまな面での「地域の自立と再生」をめざす運動です。

溝口町では昨年10月、鳥取ルネッサンス溝口町行動計画を策定し、その中の地産地消の取組みとして、県産の木を使って作られた器を、保育所の給食器に導入しています。

その様子を紹介するため、2月3日、山陰中央テレビが日光保育所に取材に訪れました。

この様子は、2月29日に山陰中央テレビで放送されます。



取材の様子

先達の夢

第7回 町民ミュージカル



とき 平成16年
3月7日(日)

場所 鬼の館ホール

★昼の部 開場13:00 開演14:00
★夜の部 開場17:00 開演18:00

■入場料 前売券/大人500円 小人(中学生以下)300円
当日券/大人600円 小人(中学生以下)400円

入場券は、役場窓口・各公民館(中央公民館・二部公民館・日光公民館)・遊学館・文化センター・町立図書館・情報課で発売します。

昼の部、夜の部共開演1時間前より役場・会場にてチケットの売上を募りを行います(無料)

■お問い合わせ 溝口町役場情報課 TEL63-0991

■主催 溝口町

= 広報みぞくち2月号 No.522 =

発行：溝口町役場
編集：企画課 印刷：株式会社 高下印刷
〒689-4292
鳥取県日野郡溝口町溝口647番地
TEL (0859) 62-0711
FAX (0859) 62-7172
Eメール mizokuci@sanmedia.or.jp

= わたしたちの町 (2月1日現在) =

人口 5,319人(前月比+1)
男 2,521人(+2)
女 2,798人(-1)
世帯数 1,573世帯(-2)
面積 100.40km²

父・勝さん 母・かおりさん
森谷海 仁ちゃん男 1/9 古市

父・到さん 母・秀子さん
森谷拓 史ちゃん男 1/19 古市

お誕生おめでとう

♡ 小原 純也さん(境港市)

♡ 大江明日香さん(宮原から)
大塚孝さん(佐賀県)

おしあわせに

ま ち の う ら ぎ

今月号では、給食センターの方に、いろいろお話を伺うことができました。

給食センターの職員さんは、朝早くから、その日の給食の準備に取り掛かります。

でも、子どもたちが「おいしい」といって食べてくれれば重労働も苦にならないそうです。

「好き嫌いではなく、食べることの大切さを充分理解してほしい」と話される顔に、子どもたちの食生活を守りたいという、熱意が感じられました。

ひとりごと



長尾喜代子 さん 70歳^{12/31} 森脇

井上 文子 さん 83歳^{1/11} 根雨原

入江 純正 さん 70歳^{1/14} 金屋谷

生田 正子 さん 88歳^{1/17} 福岡

蘆立 達雄 さん 75歳^{1/17} 宮原

前田 カル さん 94歳^{1/24} 大平原

ごめい福を祈ります